

シネマズライフ

2013年5月3日発行 第38号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

貴樹 諒首

【最近のこれはまずいぞ!】『燃える仏像人間』数々の仏像が出てきて暴れるみたいやけど、罰があたりんように氣いつけなあかね(;-)v

【最近のこれはお見事!】『俺はまだ本気出してないだけ』いやいや、ぐうたら人間が自分を正当化する為の唯一の言葉を題名にしちやったらこれから私は使えな

映画の風景 日本の風景

※ 若狭湾国定公園・日向湖(三方五湖) ※



昔、『夜叉』という映画があった。こんな映画だ。大阪ミナミで、ヤクザとして生きていた修治は十五年前、ミナミで知り合った冬子との結婚を機に、冬子の実家の港で漁師として暮らしていた。ある日、その港に管子という女が子連れでやってきて飲み屋を開いた。どこか影がある管子に地元の漁師達が殺到、修治もミナミにいた女という事で管子に興味を持つ。ある日、管子の店に矢島という男

がやってきた。矢島は管子の兄。実は、ジャブ中巻の矢島は、店の常連客にも寛げい刺を売りに付けた。やがて修治は自分と同じ匂いをする管子に魅かれるようになり、遂に結ばれる事に。そんな中、寛げい刺の代金が払えなくなつた矢島は、やくざにミナミに連れ去られてしまう。

管子は修治に、矢島を助けてほしいと懇願する。若い頃にミナミで名を馳せていた修治は過去を忘れがたい。しかし結局はヤクザな生活。結婚し子供がいる修治には帰れない世界だった。冬の若狭湾は荒涼たる風景に晒される。そんな、冬の日々は誰にもある忘れがたい日々を思い出されてくれような気がする。一度、私もこの荒涼たる土地を訪ねたいと思つているのだ。

『夜叉』1985年 日本 監督：筒旗康男 主演：高倉健 いしだあゆみ 乙羽信子 田中裕子 ビートたけし 田中邦衛

東映のやくざ映画のヒーローとして活躍した高倉健は東映を離れてからもそのイメージが抜けなかった。この映画は彼が【ヤクザ映画】から決別した映画ともいえます。

散歩途中に見る
ハナミズキは
美しいです。



ハナミズキの花期は4月下旬から5月上旬。今年初めて知つたんだけど、桜より花期がすごく長い。いろいろな花が咲いて綺麗だし、これからは公園で植える花はハナミズキがいいんじゃないかと思ったりします。写真は「フォトライブラリー」からお借りしました。



